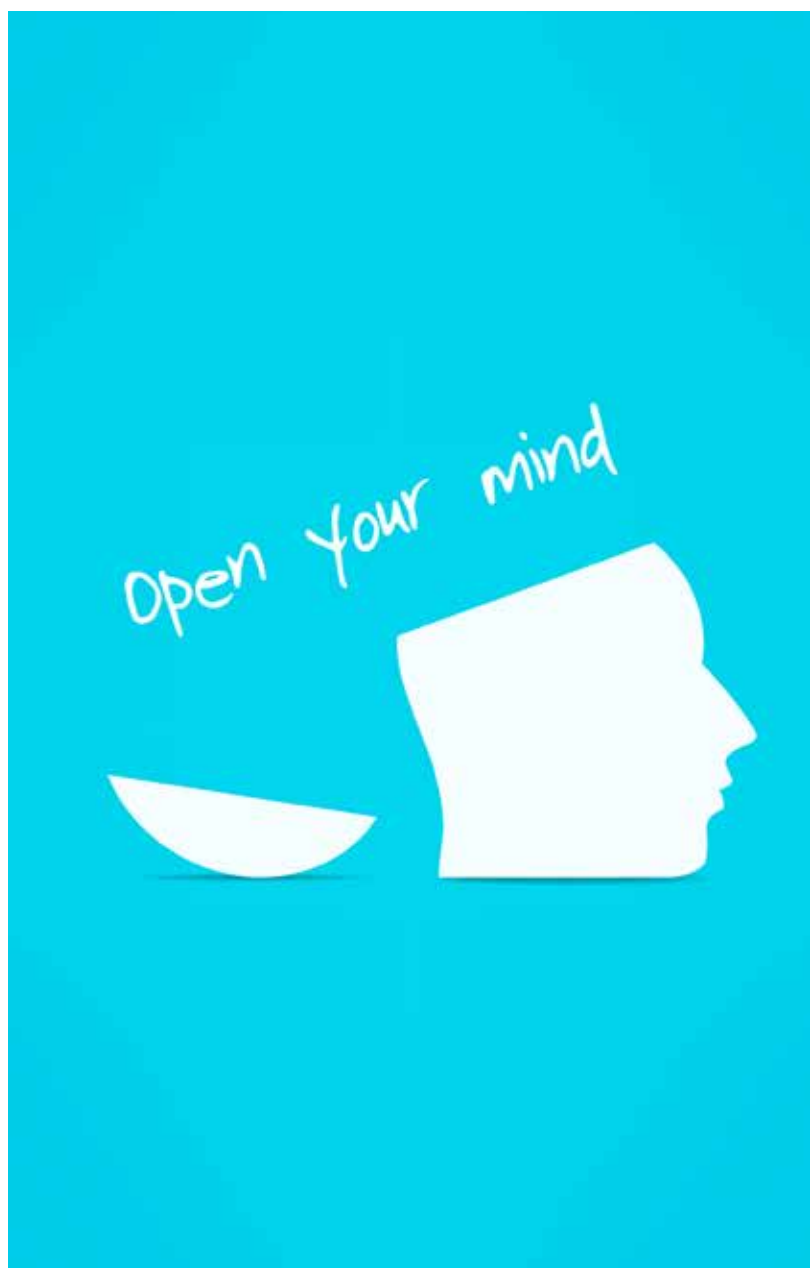


shin

2016.11

vol. 08

信頼の絆で共に伸びゆく新時代 — 全印工連の **CSR** マガジン



▼ CSR 認定企業紹介

東京

池田印刷

製品にもCSRにも「最善」を追求

富山

朝日印刷

子供や孫も入社させたい会社へ

▼ オープン・イノベーション最前線

NPO法人グリーンバレー

「神山プロジェクト」

▼ 研究・自治体の企業認定制度

▼ CSRトピックス

MUD協会 墨田区に避難サポートセットを寄付

エコプロ2016 12月8日からビッグサイトで開催

全印工連CSR認定 ツースター2社、ワンスター5社を認定

帝国データバンク 最低賃金に対する意識調査

GP制度PR大使に小山薫堂氏



全日本印刷工業組合連合会

池田印刷株式会社

本社：東京都品川区西五反田6-15-34 創業：昭和28年 従業員：32名
代表者：池田幸寛 認定取得：2015年6月（ツースター） <http://www.ikedaprint.co.jp/>

製品にもCSRにも「最善」を追求し、 女性活躍・ダイバーシティ経営も実践

——池田印刷の業務内容は。

池田 商業印刷をベースに、カタログやパンフレットなど、色調や付加価値にこだわった高品質な印刷物が主な商品になります。

お客様の業種は限定していませんが、アパレルやコスメティックといった、色彩を特に大切にするようなクライアント様から高い評価をいただいているのも特徴の一つですね。

池田印刷の印刷物は大量生産される工業製品ではなく、「工芸品」だと私は称していますが、お客様の求めているクオリティ、言い換えれば感性価値を見出し、それを印刷物として表現していくことに弊社としては強いこだわりを持っています。

——経営理念に「最善」という言葉を掲げていますが、どのような意味が込められているのでしょうか。



経営理念 最 善

印刷を通じて経済や
社会生活の改善と向上を図り、
情報と文化の発展に寄与すること。

「最善」は、池田印刷株式会社の事業の目的とその存在理由を簡潔に示したものであり、あらゆる経営活動の根幹をなす経営理念です。私たちは創業以来「顧客重視」を掲げて、常にさまざまな側面から最善を尽くすことを心掛け、顧客発展の役に立ち、喜んでいただけることを第一義としてまいりました。わたしたちは常に経営理念に立脚、創造と挑戦の気概をもち、視野を拡大し、新しい未来を切り拓いていきます。

経営理念「最善」は、“お客様にとってより良い品質の製品を、必要なときに、適正価格でご提供すること”を軸として具体的な品質管理の取り組みへと更に強化し進めております。同時に環境の時代を迎え、事業活動のみならず社会システムや人々の価値観をも含む大きな変革に向けて、わたしたちの活動が環境に影響をあたえる負荷を技術的・経済的に可能な範囲においてできる限り軽減し、『環境との調和』をスローガンとして地球規模の環境保全と情報と文化の担い手としてのさらなる社会貢献を目指して活動しております。

池田 「最善」は池田印刷の事業目的

とその存在理由を簡潔に示したものであり、あらゆる経営活動の根幹を成すものです。

お客様のパートナーとしてひとつの作品を造り上げていくという感覚を、営業から印刷、配送に至るまで、池田印刷で働く社員の全員が持つていて欲しい。

先代の池田寛社長から心がけていたことではありますが、CSRレポートを発行するにあたり整理していくなかで、最善という簡単な言葉に置き換えることになりました。

——池田印刷では年に1度『CSRレポート』を発行しており、最新号にあたるVol.11も、約70ページの大ボリュームになっています。同書の発行を始めた経緯は。

池田 2003年にISO 14001（環境）を取得した際に、まず環境報告書を発行しました。さらにその翌年ISO9001（品質）を取得し、新しい取り組みが増えてきたため、今までやってきた事業と新しい取り組みとの両方を表現するツールとして、環境報告書ではなく、CSRレポートを発行しようという提案があり、2004年から発行

することになりました。

——CSRレポートを制作するうえで心がけていることはありますか。

池田 報告と同時に記録の意味もありますので、CSRレポートには前年度だけでなく、過去にやってきたすべての活動を掲載しています。池田印刷はISOの取得をきっかけに、プライバシーマークやグリーンプリンティング認定、FSC/COC認証の取得などに繋がってきました。過去の経緯や積み重ねを見せたうえで、今年度はどのようなステップを踏み、成果をあげることが出来たかを伝えていきたいと考えています。

CSRレポートのページ数も膨大になってきたため、制作コストのことも考えてもつと簡略化をしていくことも検討しましたが、有識者の方からも「中小企業の場合は、『去年これをやりました』という報告だけで





なく、『この経験があつて今に至つて
います』ということ伝えるのが大
事です』と伺つたので、この1冊
だけで過去の取り組み内容や詳細を、
すべて網羅できるよう作り込んでい
ます。

——岩佐さんはCSRレポートの発
行について、社員の目線からど
のように考えていますか。

岩佐 日々の業務のなかでお客様に
自分たちが作った製品をお届けする
ことで、池田印刷が作る印刷物のク
オリティなど、目に見える部分の取
り組みをお伝えすることは可能です。

しかし、ISOなどの認証もそう
ですが、経営の考えや環境対応、労
働安全衛生や地域活性化活動など、
企業内の目に見えづらい場所を取り
組んでいる部分については、お伝え
する機会がなかなかありません。

CSRレポートを発行することは、
外部の方に池田印刷の取り組みをよ
り知ってもらうためにも、大事なこ
とだと考えています。

お得意様には郵送でCSRレポー
トをお届けしていますが、工場の
受付カウンターに置いておくと、興
味がある方が持ち帰つてくださる
ケースもあります。冊子を発行する
ことで、池田印刷の印象も普段とは
違った目線で見ていただけるのでは
ないかと思っています。

——CSRレポートで、人権・機
会等についての基本方針を公開
していますが、池田印刷では早
期からダイバーシティ（多様な
人材の積極的な採用）に取り組
んでいますね。

池田 昨今注目されているダイバ
シティですが、池田印刷では経営理
念とは別に、人権・機会均等の基本
方針を設定し、そのなかで「全ての
社員が人権・性別などに関係なく自
由闊達に個人の能力を発揮できるカ
ルチャーを持ち、それぞれの活動が
それぞれのコミュニティで親しまれ
る企業となることをめざしています」
と定めています。

何故、印刷会社がこのような基本
方針を掲げているか疑問に持たれ
るかもしれませんが、きっかけは

1970年代に入国管理局の依頼で、
ベトナムの難民の方々を池田印刷で
受け入れたことでした。

数年にわたつて、合計で約10人の
方を受け入れましたが、現在も3人
の方が社内働いています。

労働条件も雇用条件も、日本人の
方とまったく同じ条件で先代の池田
寛が採用しましたが、池田印刷の仕
事の信念を理解していただき、非常
に勤勉に働いてくれています。今で
はそれぞれが家庭を持ったり、家を
買ったりと、日本人とまったく変わ
らない生活をされています。

大事なのは今まで何をしていたか
ではなく、我々の企業のなかで、そ
の人が持っている知識や経験をどの
ように活かしていただけるかではな
いでしょうか。

ひとり一人の方がモチベーション
を高く持つて活躍し、弊社に貢献し
ていただくことが、互いにとつても
プラスになります。

優秀な方は外国人でも主任になり
ますし、岩佐工場長のように、女性
でも取締役になることができます。

——岩佐工場長はどのような経緯で
池田印刷に入社されたのですし
うか。

岩佐 元々は別の会社でOLとして
働いていましたが、出産を機に退職

しました。池田印刷には産後でも負
担のかからない範囲からということ
で、最初は電話番号を中心とした事務
職のパートとして採用されました。

パートのときには、大きな責任が
伴うため正社員にしか任せてもらえ
ない仕事というのもなくさんありま
した。印刷業界も未経験だったため、
いろいろと勉強すべきことは多かつ
たのですが、先輩方の仕事ぶりを見
ながら勉強し、正社員として採用し
ていただくことになりました。

池田 女性はお茶くみと電話番号で男
性は力仕事をする、言わば職人気質
の強い時代が数十年前の印刷業界に
はあり、当社も例外ではありません
でした。

ただ、彼女の場合は個人の能力が非
常に高かったため、正社員にもなりま
したし、先代の工場長の側で仕事をサ
ポートしながら専門的な知識も習得し
てくれました。

かねてから
彼女が練つて
いたマネジメ
ント改善も評
価され、その
後は生産管理
課の係長、課
長になり、先
代の工場長が



創業から半世紀続いている社員による朝当番制の清掃活動。



私たち、しながわマーチング委員会ではしながわマーチングサポーターを随時募集しています。
しながわの街で生れた、育った、学んだ、遊んだ、仕事した、などで
しながわが大好きなマーチングサポーターを随時募集します。
私たちと一緒に地域の住民、商店、企業の活性化推進を支援するプラットフォームを創出しませんか？

地元である品川区の風景を切り取った「しながわふれあい百景」

企業にとって社会との関係がますます重要になってきている今、
コミュニティとのより良い関係作りをめざして、
良き企業市民として歩んでいきます。
また社員一人ひとりのコミュニティへの参画についての意識向上が
促進するよう、本社員によるボランティア活動を推進する
“朝当番制”などに取り組んでいます。



お絵かきノート

幼稚園・保育園を中心に配布を続けてきた「お絵かきノート」

大切なことだと思っています。

都内には特にそうですが、子供を保育園に預けられない人も近年は増えてきています。当事者だけでなく、トップも女性が働ける環境づくりについて考えてくれることが、子育てをしながわに働いていくうえでは不可欠ではないかと私は思います。

——最後に改めてメッセージをお願いします。

岩佐 新入社員が入ってきて、1年また1年経って成長する姿を見るのは、まるで我が子を見るようで、目が細くなる思いです。

私は彼・彼女たちがやりたいこと、実現したいことがあるならば、その方向へ導くとともに、チャンスを与えることが私の役目ではないかと考えています。

また、印刷工場がある京浜島は埋立地からなる工業地域で、近所にも他社の工場が多数あります。災害に備え、消防署と協力しながら社内でも預かっている手動式ポンプを使う訓練もしていますが、災害の時には、池田印刷が先陣を切っていきたいです。

近隣の会社とも協力体制を結びながら、この島で頼られる存在になっていければと思います。

います。

池田 現在、私は品川区が発足した「しながわCSR推進協議会」のメンバーとして参加しています。

参加している66企業のなかには大企業の方もいて、互いに地域活性化に向けて協力関係を構築していますが、同じ区内でもなかなか縁を持つことが出来なかった方たちとも、CSRを共通言語として知り合うことが出来ました。

そういう意味でも、CSRはこれからの時代、営業ツールのひとつになっていくのではないかと思います。

そしてこのCSRというツールをどのように作りあげていくかは、各社次第ではないでしょうか。

池田印刷としても、感性価値の印刷会社として、さらにCSRを推進していきたいと思っています。



工場体験会でものづくりを通じた学びを提供

朝日印刷株式会社

本社：富山県富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル 創業：明治5年 従業員：941名
代表者：濱尚 認定取得：2013年6月 <http://www.asahi-pp.co.jp/>

子供や孫も入社させたい会社へ 従業員満足度を高め、地域の雇用を守る

——朝日印刷が提供する印刷物の特徴は。

濱 医薬品・化粧品関係のお客様が仕事の90%以上を占めており、印刷業界では「厚物」と言われるパッケージの仕事が圧倒的に多いですが、パッケージの中に入っている説明書、ビンなどの容器に貼るラベル等の製品

も提供しています。

富山は薬（売薬）で古い歴史と伝統があり、朝日印刷も地場産業と共に成長してきた会社です。

——他の印刷物と医薬品関係の印刷物に違いはあるのでしょうか。

濱 薬機法（旧・薬事法）で法律として厳しく定められていますが、ミスプ

リや誤植などの失敗は絶対に許されません。

例えば、薬のパッケージには用法・用量などが書かれています。文中に1文字でも違う箇所があれば全品回収になります。また、パッケージのなかに説明書が入っていない商品が見つかれば、こちらも全品回収になります。

日本の薬機法は世界

でもトップクラスの厳しさのため、品質管理の要求レベルも印刷業界内では高い分野になっています。間違

いを起こさない商品を提供するために、お客様から様々なご指導や協力をいただき取り組んでいます。

——濱社長がCSRを意識したきっかけなどは。

濱 CSRという言葉自体を知ったのは、ここ数年の出来事になります。しかし、私自身としては「普段の朝日印刷が行っている会社活動のなかにこそ、CSR活動がある」と考えています。

当社は薬に関わる印刷物を事業の核にしてきましたが、薬とは昔から無くてはならないもので、それを最終製品に仕上げていくために、求められる品質も高めてきました。

朝日印刷だから出来たことをこれからも続けていくことが、当社のCSR

活動になるのではないのでしょうか。

——中期経営計画として「AD2016計画」を掲げてきました。どのような内容になっているのでしょうか。

濱 今後も永続的に発展できる企業であり続けるために、「Change For The Future! 印刷包材提供企業から感動提供企業へ」をコンセプトに、包装材料を単に提供するだけでなく、一緒に「感動」を提供できる会社にならなければならないことをコンセプトにしています。

感動とは人の感情なので、決まった形はありませんが、感動を与えるにはまず感謝されなければいけません。しかし、ただ当たり前のことを出来る会社というだけでは、感謝をされても感動はしてもらえないでしょう。

私は自分（受け手）が想像してい

ボトムアップの意見も経営に取り入れる濱尚社長



朝日印刷の印刷（OTC 医薬品）



朝日印刷の印刷（医療用医薬品）



る以上のことをやってもらったときに、初めて感動というのは生まれるのではないかと思います。

営業や製造など各部署でやれることは違いますが、感動していただけるようなお客様を1社でも増やすことが出来れば、企業間の繋がりも深くなり、仕事もしやすくなるでしょう。

広田 今までの中期経営計画はトップダウンで決めてきた計画でした。

当然、それが良い面で働くこともあるのですが、今回の中期経営計画は濱社長が代表取締役役に就任する2年前に、社内の若手従業員を中心に選抜して、「夢創造委員会」を立ち上げることからスタートしました。夢という言葉のとおり、これからの朝日印刷を背負っていく人たちに、朝日印刷をどのような会社にしたいかの夢Ⅱ意見を出し合って、摺合せをしてもらいました。

その後、さらにブレイクダウンをさせた「夢実現委員会」を発足させ、具体的に目指すべきビジョンや経営計画の骨子にしていきました。

それらの委員会が出てきたキーワードが「チェンジ」「感動」、そして「ぶつちぎり」という言葉でした。

——「ぶつちぎり」という言葉を中期経営計画で用いるのは新鮮ですね。

濱 ぶつちぎりは社員から提案をもらった言葉になります。中期経営計画には似つかわしくない言葉かもしれませんが、すごく分かりやすく、聞いて誰もが想像しやすいと思いました。

感動していただける人が増えてくれば、まさしく他社をぶつちぎりに出来る状況になるのではないのでしょうか。

——地場産業と共に育ってきたこのお話がありました。創業140年を超える朝日印刷が行っている地域貢献活動は何かありますか。

濱 私は一番の貢献は雇用にあるのではないかと考えています。それをずっと継続し、会社として利益を出して税金を納めていくのが大事ではないでしょうか。

お陰様で、朝日印刷も仕事が忙しい

状況が続く、毎年地元の高校を卒業させた方々を約30人採用しています。

直近では昨年の夏、京都で新しい工場が稼働しましたが、こちらでも京都・奈良の高校を卒業された地元の方々を採用させていただきました。富山ほどの規模感で採用を続けるのは難しいですが、少しでも地元に貢献をさせていただきたいと思っています。

また、社内的には創業140年を迎えるタイミングで「夢」について語ってもらいましたが、私からは創業200年に向けた話もしました。

中期経営計画にも従業員満足度（ES）の向上をはじめ、しっかりと落とし込んでいますが、「子供や孫の世代も朝日印刷に入社させたいと思う会社づくりをしたい」と呼びかけています。

——従業員を大事にする会社作りも、CSRにおける基本的な考え方につながっていくと思います。

濱 従業員を大事にする家族的な社風は創業以来からあったと聞いています。地方で仕事の選択肢が少なかつたという理由もあつたかと思いますが、以前は自分の子供だけでなく、孫や従兄弟まで一緒に働いていたそうです。

ただ、それが出来たのも、当時の方々が「自分が働いてきて良かった」

と朝日印刷に対して、思っていたからではないでしょうか。

松原 自分たちが働いている会社に帰属意識を持つてもらうためには、働きやすい環境の整備が不可欠だと考えています。

自分の会社には子供だけでなく、孫まで入りたいと思える会社というのは非常に難しいですが、実現に向けて少しずつ動いています。

総務である私の立場からはワークライフバランスという観点で見えますが、女性の育児休暇取得率もほ



崎田人事課長



松原総務部長



左：朝日印刷富山第二工場内
右：県内最大級の印刷工場である朝日印刷の富山工場

ば100%を達成し、この10年のあいだに100人近くの方が完全取得しました。

一部の社員ですが、フレックスタイムも導入し、勤務時間を自分で決めて働く仕組みも作っています。

現在是在宅勤務制度も導入し、子育てだけでなく介護といった面でも利用できるよう、働く人にとって優しい職場づくりを進めています。

—— E S アンケートなどの実施はしていますか。

崎田 いくつかのカテゴリーに設問を分けて、自身の働き方や上司との関係など、様々な観点で見られるようになっていきます。

ただ、すべての数字をそのまま全社員に公開してしまうと、一カ所のデータだけを抜き出し、間違った解釈や判断をされる可能性もある

のではないかという意見が挙がりました。

そこで、コンサルタントの方にも協力をいただき、複数の設問を俯瞰的に見ながら、傾向などについて分析と再整理をして、部門長を通じて結果をフィードバックいたしました。

—— グループで1000人を超える会社規模になりますが、濱社長
の考えをどのように社員に伝えて
いますか。

濱 年に数回、年頭や年度はじめに際しては全拠点を通信回線で繋いで、私自身が考えていることや実現したいことを自分の言葉で表現し、直接伝えていきます。

日常の業務では、基本的には部門長クラスの会議を通じて落とし込んでいますが、各地の販売拠点や工場を回って、現場の社員とも積極的にコミュニケーションをとっているつもりです。

社員数も多いのですべての社員と話す時間を確保することは難しいですが、少しでも私自身が思っていることを伝えていければと思います。

—— 最後に皆さんから一言ずつメッセージをお願いします。

崎田 子供や孫も入りたい会社、という意味では、私自身の子供がまだ小さいというのがありますが、将来

的に多くの人が同じ気持ちを持ってもらえる会社へ変えていくため、その力になりたいと考えています。

夢創造委員会も含め、人事制度もここ数年で少しずつですが、年功序列だけに縛られない、若い人の抜擢も増えてきました。新しいことに若い人もチャレンジさせてもらえる環境も出来てきたと実感しています。

朝日印刷も全体では1000人を超える規模になりますが、その一人ひとりの個性や力が発揮出来る会社作りをしていくのが私たちの役目ではないでしょうか。

松原 富山では「ものづくり県とやま」と称し、産業観光にも力を入れています。朝日印刷の工場にも年間延べ270社ほどの見学者が訪れるほか、顧客の立会い、監査などでも足を運んでいただいています。

品質には徹底的にこだわっているというのをお話しした通りですが、工場に来ていただいた方は皆さん口を揃えて「綺麗な工場ですね」と言ってくださいます。

E S と C S の底上げを図りながら、地域ナンバー1企業として誇れる職場づくりに向けて、私自身も力の一端になつていきたいと思っています。

広田 A D 2016計画は今年が最終年度になります。現在、新しい中

期経営計画の策定に向けて動いていますが、朝日印刷のみんなで作りました計画を、今度はグループ会社も巻き込んで作ろうと動いています。

朝日印刷はパッケージが事業の柱になっていますが、今後どういう事業をやっていくべきか、グループ全体から意見を募りました。約400件の案をいただいたので、現在精査をしているところです。

トップダウンも必要ですが、やはり社員全体が能動的に手をあげてくれなければ会社は良くなりません。

その雰囲気作りが段々と出来ているのは、とてもよいことではないかと思っています。

濱 私自身の仕事は、どうすれば社員の皆さんに気持ち良く仕事をしてもらえるかを考え、そのためのシーンをどう作るかにあります。

会社の規模も大きいので、どうしても一体感を感じるシーンは少なくなりますが、私が就任した当時よりも、私の言葉や考えに理解と賛同してくれている人が増えていっているのも実感しています。

対話やコミュニケーションも図りながら、社員の皆さんが働きやすい環境を今後も作っていければと思います。

オープン・イノベーション最前線

NPO 法人グリーンバレー 「神山プロジェクト」

徳島県
名西郡神山町



理事長
大南 信也氏

NPO 法人グリーンバレーは徳島県名西郡神山町に本拠を置き、地方創生活動「神山プロジェクト」を推進している。過疎化が進む地方において、外部から若者やクリエイティブ人材を誘致する創造的過疎を掲げ、アーティスト（芸術家）やIT企業の誘致を実現し、全国から大きな注目を集めている。神山町の出身で、グリーンバレーでは理事長を務めている大南信也氏に話を聞いた。

神山町は徳島県の北東部に位置し、周りを山や川の大自然に囲まれた静かな町。山間地域が町域の83%を占めているが、徳島空港から車で約1時間、東京の羽田空港からでも2時間30分程度で、都心からのアクセスが比較的良好なのが特徴だ。

しかし、神山町も地方の過疎化や都市部への人口流出の例に漏れず、町民の数は1955年の2万1千人をピークに、2015年（国勢調査確定値）は5千3百人、4分の1にまで減少することになった。

大南理事長は「高齢化率（65歳以上が人口を占める割合）も47%となっています」と話す。一方で、「暗いコトばかりのように思えますが、面白い現象も起きています」として、社会動態人口（転入・転出の動き）のデータを取り上げた。それによると、2000年代初頭までは過疎化に伴い、転出数が転入数を大きく上回っていたが、グリーンバレーが神山町から「移住交流支援センター」の運営委託を受けた2007年をきっかけに両者の差が少しずつ縮まり、2011年には転入数が転出数を超える結果を出している。これは神山町でも史上初の出来事だという。

また、この4年間で神山町移住交流支援センターを経由して転入してきたのは、58世帯105人、平均年齢は約30歳である。

大南理事長は「過疎化の現状を受け入れ、数



ガンに、日米友好親善人形としてアメリカから送られ、文部省（当時）が全国の幼稚園・小学校に配布したうちの一体である。

人形は1万體以上が配られたが、太平洋戦争を契機とした反米・反英政策により、そのほとんどが焼かれてしまった。しかし、アリス・ジョンストンは当時の神山町の神領小学校に勤めていた女性教師が「人形に罪は無い」と密かに隠し、難を逃れることになった。

時が経ち1990年。大南理事長はPTAの会合で小学校を訪れた際に、廊下に飾られているアリス・ジョンストンに出会うことになる。

「アリス・ジョンストンの箱を見させていたのなら、そこにパスポートが入っており、アリス・ジョンストンの名前と一緒に、『ペンシルバニア州ウィルキンズバーグ市』と記されていました。まだ人形の送り主が生きているのではと思い立ち、当時のウィルキンズバーグ市長に手紙を送ったところ、半年後に送り主が見つかったという報告を受けました」

人形を送ってくれたのは、当時のろう学校に勤めていた、アリス・ジョンストンと同名の教師だった。翌年に神山町は「アリス里帰り推進委員会」を発足。町民から30人の訪問者を決定し、人形を故郷へ里帰りさせるため、ウィルキ

ンスバーグ市へと旅立った。

大南理事長は「このメンバーのなかには、後のグリーンバレーで中心となる人物が5名いました。アリスの里帰りを通じて、成功体験を共有出来た仲間を作れたことが一番大きかった」と話す。

「自分の言葉だけで成功を伝えるには限界があります。ところが、同じ体験をした人には説明をしなくてもすぐ通じます。前例のない、新しいことに取り組んだ時の空気を味わい、成功体験を共有するのはとても大事になるでしょう。」

翌年の1992年には「神山町国際交流協会」が新たに発足し、親善人形をトリガーとした、国際交流の場を設けることになった。

互いの国でパー

ティを開くなど、国際的な交流が進む一方で、単発的な活動を繰り返すだけでは直接的に神山町の過疎化を回復する契機にはならず、大南理事長も頭を悩ませていた。

転機が訪れたのは1997年、徳島県が都市の近隣に位置する神山町に白羽の

ではなく、内容（質）を改善していくべき」と提唱し、「産業振興も農林業だけでは成り立ちません。外部から若者やクリエイティブ人材を誘致し、多様な働き方を実現できる、ビジネスの場としての価値を高めることで、持続可能な地域を目指すことが出来るでしょう」と「創造的過疎」の狙いを説明した。

大南理事長はグリーンバレーの始まりと成功体験の共有についても説明してくれた。

グリーンバレーの始まりは1991年、神山町の神領小学校に飾られていた、ある一体の「青い目の人形」の里帰りプロジェクトがきっかけだった。

人形の名前はアリス・ジョンストン。

1927年、日本とアメリカの対立関係が強まるなか、「世界の平和は子供から」をスロー



大南理事長からレクチャーを受ける
全印工連産業戦略デザイン室メンバー



神山パレ－・サテライトオフィス・コンプレックス



徳島県庁でも神山町にサテライトオフィスを設置



テレビ会議で新しい働き方を実現

矢を立てて、「新長期計画／とくしま国際文化村プロジェクト」を立ち上げたことに端を発する。

大南理事長は「10年、20年先の『国際文化村』を考えた時に、住民主導で運営が出来る形を作っておかなければならないと思いました。地域に根ざした取り組みは、住民主導でないと続きません」と振り返る。

そこで県に対して住民が自ら企画を提案するための組織、「国際文化村委員会」を25人のメンバーで結成。協議の結果、環境と芸術を両輪にした地域創生プロジェクトを進めていくことになった。

環境プロジェクトではゴミの無い町を神山町文化の表現方法として位置づけ、「アドプト・プログラム／道路清掃ボランティア事業」を開始。通常は行政が主導でおこなう道路清掃を、道路標識内に記載された企業がその区間の清掃を代わりに担当する、アメリカ発祥の清掃ボランティアの手法だ。神山町が全国

に先駆けて取り組んだ活動は、現在では全国47都道府県、数百の自治体で実行されるまでに広がった。

芸術プロジェクトは「神山アーティスト・イン・レジデンス」と称し、国内外の芸術家が集まる町を目指して、国内外の芸術家を毎年3人招き、町民が支援する仕組みだ。

プログラムは現在も継続して実行されており、公募で選出された20カ国60人以上のアーティストの作品が集積されている。

しかし、神山アーティスト・イン・レジデンスの特徴は作品ではなく、滞在するアーティスト11人に焦点をあてたことだ。

「我々はアートの専門家でも無く、資金も決して潤沢ではないため、作品を単に集積して観光客を招くにも限界があります。一番大事なのはアーティストの満足度をあげ、神山町の持つ、場の価値を高めることにあります。『アートを日本で作るなら神山！』と思っていいただきたかった」と大南理事長は語る。

取り組みを始めて数年、アーティストから自費滞在を望む声上がり、宿泊・アトリエ等のサービスを有償提供するビジネス展開も模索し始めた。そしてさらなる情報発信を狙いに総務省の地域ICT利活用モデル構築事業と

川の上でPCを開く男性。神山町では多様な働き方を実現している。



川の上でPCを開く男性。
神山町では多様な働き方を実現している。



えんがわオフィス「プラットイーズ社」

して、2008年にはウェブサイト「イン神山」が立ち上がった。

自然やアート、神山町の等身大の魅力を発信していくサイトだったが、そのなかでも特に注目を集めるページがあった。

「神山町をアートの滞在する町、観光として魅力的な町としてホームページも作り込みましたが、『神山で暮らす（物件・空き家情報）』というページが他のページのアクセス数に5倍以上の差を付け、神山町への移住需要が非常に高まってきていたことがわかりました」

しかし、移住の需要は判明したものの、実際に呼び込み、住んでもらうためには、雇用や仕

事が無ければ成立しない。

そこで新たに立ち上がったのが、「ワーク・イン・レジデンス」。町の将来にとって必要になる働き手や起業者の誘致だ。

『神山町でパン屋さんを開いてみませんか？』『デザイナーさん、いらつしやい！』など、我々から逆指名することで、仕事を既に持っている人、新たに始めたい人に来てもらうための仕組みです。また、事前に職種を指定

立ち上げている。

「光ファイバーを町の全域に敷いているので、ICTの環境は全く問題ありません。サテライトオフィスが設置されたことで、まずは神山町に仕事で通う循環滞在者が増えましたが、次には移住希望者も増えました。新拠点の設立に伴う新たな雇用も生まれ、まさしく『創造的過疎』による持続的な地域を目指せるようになってきました」

閉鎖された縫製工場を改修し複数の企業・自治体や個人が共有して使えるコワーキングスペース「神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス」を設立するなど、神山町では引き続き様々なクリエイターや企業者を誘致する計画を推進している。

また、現在は新たなプロジェクトとして、町役場・住民・移住者が協力し「まちを将来世代につなぐプロジェクト」がスタートした。大南理事長は「出来ない理由より出来る方法を考えましょう。実行しない計画は意味がありません。」としながら、次のように語った。

「好きな町を好きな状態で放置しては変わらない。まずは素敵な町にしましょう。行動を起こせば必ず素敵な町、素敵な都道府県、素敵な日本が作れます。頭のなかで考えているだけではいけません。自ら一步踏み出すことによって、ほかの人が勇気を持って付いてきます。まずはその一步を踏み出していただきたい」

自治体の企業認定制度

地域課題解決に企業がコミット。
行政と企業はイコールパートナーシップの時代へ。

近年、地域が抱える様々な課題を、企業との連携によって解決しようとする政策が全国の地方自治体で進められている。地元の企業を単なる納税者や雇用の受け皿としてではなく、行政のパートナーとして積極的に評価・活用しようとする、CSRを中心とした地方自治体の様々な認定制度を紹介する。

横浜型地域貢献企業認定制度

2007年にスタートし、自治体のCSR認定制度の先駆けとなった制度である。この制度の特徴は「横浜という地域社会に貢献している企業」を評価している点である。地域や社会を意識して、地域に根差して事業活動を行い、地域と共に成長・発展を目指す企業を横浜型地域貢献企業とし、それらの企業を支援していくことで横浜経済の持続的発展につなげることを同制度の目的としている。

認定の評価は、①システム評価と②CSR取り組み評価からなり、それぞれの基準を両方ともクリアした企業が認定される。システム評価は、継続的にCSRに取り組むためのマネジメントシステムが構築されているかどうか評価するもので、規格要求事項をすべて満たす必要がある。CSR取り組み評価は、コンプライアンス、地域社会貢献、地元活用・志向、雇用、環境、品質、財務・業績、労働安

全衛生、消費者・顧客対応、情報セキュリティという10のCSR項目それぞれで、どのような取り組みをしているかが評価される。

認定企業には、認定マークの使用が認められるほか、低利の制度融資や公共工事の入札でのインセンティブなどの特典がある。2016年10月現在394社が認定されている。

宇都宮まちづくり貢献企業認定制度

横浜の制度を参考に2008年に創設された。宇都宮の制度の特徴は「市民・企業・行政が協働のまちづくりを進める」ことを目的にしている点である。認定の評価は、まちづくりに重点を置いた10のCSR項目で一定以上の取り組みをしている企業が認定される。横浜のようなシステム評価は実施していない。

認定企業のメリットとしては、横浜と同様、認定マークの使用、低利融資、公

共工事の入札優遇などがある。2016年4月現在131社が認定されている。

さいたま市CSRチャレンジ企業認証制度

2012年に市内中小企業を対象に創設された。この制度ではCSRを単なる社会貢献ではなく、企業経営の根幹をなすものと位置づけ、CSRに取り組むことで企業が成長し、ひいては地元経済が活性化するという「産業振興」を目的にしている点に特徴がある。

認定の評価は、『CSRチェックリスト』中小企業のためのCSR読本』に掲載されているチェックリストのうち、「守るCSR」分野の60%、「伸ばすCSR」分野の30%以上をクリアすることで認定されるが、横浜や宇都宮の制度と異なり、今後の目標設定シートの提出も義務づけられており、制度の名称の通り、より良い経営にチャレンジする企業を積極的に評価し、経営を支援する制度になっている。

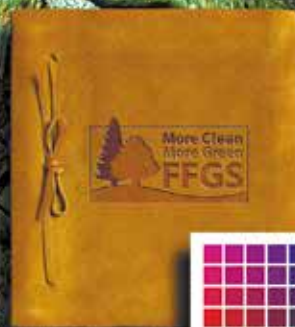
今のところこの3自治体の制度が他に先んじている感はあるが、川口市の「川口市地域貢献事業者認定制度」、静岡市の「静岡市CSRパートナー企業表彰制度」、

千葉市の「戦略的CSR支援事業」など、他の自治体でも制度化が始まっている。

CSRは企業活動全般にわたる取り組みのため、制度をつくる自治体にとっても認定を受ける企業にとってもハードルが高いことは否めない。そこで環境への取り組みなど、CSR項目の中のひとつに特化した認定制度を運用している自治体も数多くある。

青森市の「あおり健康アップ実践企業認定制度」などの健康経営型。北杜市の「北杜市子育て応援企業認定制度」などの子育て支援型。茨城県の「茨城県女性が輝く優良企業認定制度」などの女性活躍推進・ワークライフバランス型。群馬県の「環境GS認定制度」などの環境型。香川県の「かがわ地産地消応援企業認定制度」などの地産地消・地域活性化型。京都市の「これからの1000年を紡ぐ企業認定制度」などのソーシャルビジネス型。他にも、障害者支援型や人材育成型など、それぞれの地域課題に応じて様々な種類の認定制度が運用されている。

地域社会に協力的な企業を積極的に評価し、自治体運営のイコールパートナーとして関係構築しようとする動きは、今後ますます広がっていきそうだ。



「印刷のエコ」を支え続ける「大樹」、でありたい。

「寄らば大樹の陰」という教訓があります。頼りにするなら、力のある、しっかりした人物がよい、ということのたとえですが、実際には「安易な選択」として、あまりいい意味では使われません。しかし、とりわけ環境サポートにおいて、メーカーは超然とした「大樹」であるべきです。そして業界の皆さまには、ぜひとも、どっしりと揺るぎのないメーカーを「環境パートナー」として選んでほしい。環境対応はとても地道な取り組みです。立ち止まってはいけない。弛まぬ努力で、新たな成果を次々と生み出していかなければならない。そしてその成果は、取引先先のクライアントにも恩恵をもたらせるものでなければいけない。富士フイルムが目指しているのは、まさに、「ビジネスにつながる」環境対応。企業を強くし、業界全体の発展を根底から支えていける壮大な環境ソリューションです。富士フイルムが富士フイルムである限り、私たちはエコについて考え、提案し行動し続けます。美しい自然、価値ある印刷文化を、美しいまま価値あるまま次代へ伝え残していくために。富士フイルムは、未来の大空へ向かって立つ、頼もしい大樹であり続けます。



富士フイルム グローバル グラフィックシステムズ株式会社

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300 ホームページ <http://figs.fujifilm.co.jp>

カタチにしたのは、子供たちの夢。

子どもたちが、夢をもっとはっきりと思い描けたら？ それはきっと夢の実現へ向かう大切な一歩になるはず。そのような考えから、私たちは dream printer プロジェクトを始めました。公園に突然現れた不思議なプリンター。子どもたちは戸惑いながらも、プリンターに自分の夢を伝えます。するとプリンターは夢が実現したときの姿を、その場でプリントしてくれます。プロジェクトの動画は世界160カ国以上で視聴され、大きな反響をいただきました。これからも私たちは、一人一人の想いをカタチにしていきます。



「dream printerプロジェクト」
“dream printer”で検索してください。

Giving Shape to Ideas



MUD協会 墨田区に

避難サポートセットを寄付

NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会（伊藤裕道理事長、MUD協会）は、災害時の避難所内の情報表示をわかりやすくするためのUD配慮製品「避難所サポートセット」を東京都墨田区（山本亨区長）へ寄贈した。今後、墨田区内の避難所42カ所に配置される。

「避難所サポートセット」は、災害時に避難所を設営する際に必要な備品や各スペースなどを案内するためのシールやPOP、テープ類を一つにまとめた製品。あらかじめ印刷された製品で、明るい色づかいとマークで、色覚障がい者、高齢者・外国人にも分かりやすく、配慮されているのが特徴。全日本

印刷工業組合連合会が昨年12月に開催した「第9回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」で最優秀賞経済産業大臣賞を受賞した作品で、大阪シーリング印刷（株）（大阪市天王寺区）が開発した。今年4月に熊本地震が発生した際には避難所5カ所にも避難所サポートセットが配布された。

また、全日本印刷工業組合連合会の傘下である北海道印刷工業組合（板倉清理事長）においても今年10月、北海道庁総務部危機対策局へ「避難所サポートセット」を4セット寄贈している。

エコプロ2016 12月8日から ビッグサイトで開催

エコプロ2016「環境とエネルギーの未来展」が12月8～10日

までの3日間、東京ビッグサイトで開かれる。18回目の開催となる今回から、「地球温暖化対策と環境配慮」「クリーンエネルギーとスマート社会」を2大テーマに掲げ、「エコプロダクツ」から名称を改め「エコプロ」環境とエネルギーの未来展」へと進化する。主催は一般社団法人産業管理協会、日本経済新聞社。

会場のビッグサイト東1～6ホールには、企業、自治体、NPO、大学など約700社・団体が出展。アジアを代表する最新の環境・エネルギー製品・技術が集結し、総合展示会として持続可能な社会づくりを提案する。

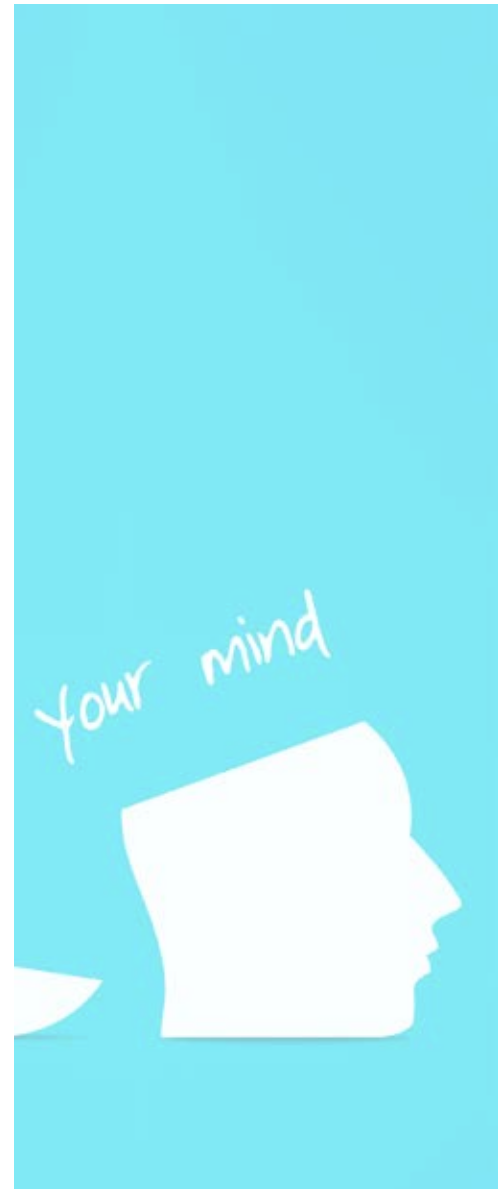
また、植物由来で環境性が高く、鋼鉄の5分の1の軽さで5倍以上の強度を持つ新素材セルロースナノファイバーを特集する「ナノセ

ルロース展」。人命や財産、社会の機能を守り、被害を和らげる製品や取り組みを紹介する「レジリエンス（強靱化）プロダクツ」など、様々な企画を実施する。

印刷関連では、印刷工業会、久栄社、クラウン・パッケージ、サンエー印刷、新日本印刷、大日本印刷、凸版印刷、日本WPA、ブレシーズ、リントックほか、インキ、紙、機器メーカーが出展する。

全印工連CSR認定 ツースター2社、 ワンスター5社を認定

全日本印刷工業組合連合会（全印工連）は9月26日、外部の有識者で構成する第14回全印工連CSR認定委員会を開催し、横浜市立大学CSRセンターからの審査報



告をもとに厳正な判定を行なった結果、あらたにワンスター認定新規5社を認定した。認定されたのは広研印刷株式会社（東京都豊島区）、精英堂印刷株式会社（山形県米沢市）、足利印刷株式会社（栃木県足利市）、内藤印刷株式会社（京都府亀岡市）、株式会社池田紙器工業（熊本県熊本市）。

また、ワンスター認定の2年間の有効期限を迎えた4社が更新したほか、新たにワンスター認定企業として、株式会社笠間製本印刷（石川県白山市）、株式会社博多印刷（福岡県福岡市）が認定された。

今回の審査により、CSR認定企業は計104社（ワンスター認定17社、ワンスター認定87社）となり、2013年に始まった全印工連CSR認定制度創設以来、認定企業が初の100社超えとなった。

帝国データバンク 最低賃金に対する意識調査

帝国データバンクは「最低賃金改定に関する企業の意識調査」を実施した。調査対象は全国2万3710社、有効回答企業数は1万2922社（回答率43・4％）。

最低賃金制度とは、国が賃金の最低限度を定め、使用者は、その最低賃金以上の賃金を労働者に支払わなければならないとされている制度。10月1日から中旬にかけて全国で実施され、改定後の最低賃金は全国平均で25円引き上げられ、地域別では都道府県ごとには21～25円、時給714～932円となった。（産業別最低賃金は別途）。

収入増加による消費活性化などが期待される一方で、人件費上昇による企業収益の悪化などが懸念されているが、その結果によると、給与体系を「見直した（検討している）」企業は35％となり、とくに非正規社員を多く抱える小売や運輸・倉庫、製造では4割を超えた。他方で、「見直していない（検討していない）」企業は49・1％となった。

給与体系を見直した理由について、企業からは「人材確保のほか、働きやすい職場環境づくりや中途離脱者防止のため」や「より働きやすく、成果をあげた、または頑張っている社員への評価制度を見直し、人事給与制度を本格的に見直した」などの声が上がっており、最低賃金での採用の有無に関わらず、人事評価を含めた給与体系の見直しを行うなど、人手不足が強まるなか最低賃金改定は人材確保に影響を与えている様子が伺える。

GP制度PR大使に小山薫堂氏

日本印刷産業連合会（日印産連、山田雅義会長）のグリーンプリンティング認定制度の初代PR大使に小山薫堂氏が就任した。10月24日、東京・千代田区紀尾井町のホテルニューオータニでPR大使就任式が行われ、神戸好夫日印産連専務理事が「グリーンプリンティング認定制度の社会的認知度をより一層高めていただくため貴殿にグリーンプリンティングPR大使を委嘱いたします」と委嘱状を小山氏に手渡した。

小山氏は1964年熊本県生まれ。2009年第81回アカデミー賞外国語作品賞を受賞した映画「おくりびと」をはじめ数々のテレビ番組や映画の放送作家、脚本家として知られ、多くの連載や著作があるなど印刷産業とも関わりが深く、さらに原稿用紙や便せん、活字にまでこだわりを持つ氏の高い感性和発信力の力を借りながら、印刷業界が地球環境の負荷軽減に真摯に取り組んでいることを社会に伝え、GPマークの信頼性と認知度を高めるのがねらい。

CSRに取り組むお客様の 印刷製品づくりを応援する それがCSRマークです。



印刷製品へのCSRマーク表示例

認定企業一覧 (2016年10月現在)

CSRに取り組む印刷会社に仕事を頼みたい。
印刷製品にCSRに取り組んでいる**マーク**をつけたい。

でも、どこに発注すればよいかわからない。
そんな要望にお応えするのが

CSRマークです。

CSRマークは、印刷業界のCSR基準を達成した印刷会社がつけることができる信頼のマークです。

〈特徴〉

- 公正で信頼できる制度
- CSR研究の第一人者である横浜市立大学の影山教授監修のもと設計された基準を達成した印刷会社を客観的に審査
- 横浜市立大学CSRセンターが審査を実施し外部の有識者で構成される認定委員会で判定
- 基準はすべてホームページで公開
- 認定企業に発注すれば、無料でCSRマークの使用が可能
- CSRマークは印刷会社のCSRの取り組み度合いにより3種類
- 認定番号管理により社会的信頼性を確保

■問い合わせ先

全日本印刷工業組合連合会CSR認定事務局
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
TEL.03-3552-4571 FAX.03-3552-7727
<http://www.aj-pia.or.jp/>

ツースター認定 (2016年10月現在 17社)			
福 島	(株)日進堂印刷所	愛 知	新日本印刷(株)
神奈川	(株)協進印刷		(株)マルワ
	(株)大川印刷	(株)二和印刷紙業	
長 野	亜細亜印刷(株)	石 川	(株)笠間製本印刷
静 岡	杉山メディアサポート(株)	滋 賀	アイズ(株)
東 京	池田印刷(株)	広 島	(株)ユニバーサルポスト
	六三グループ	香 川	(株)ミヤプロ
	文唱堂印刷(株)	福 岡	(株)ミドリ印刷
	(株)博多印刷		
ワンスター認定 (2016年10月現在 87社)			
北海道	(株)ヒロミ産業	東 京	(株)長英
	(株)プリプレス・センター		(株)相互
	(株)アイテックサプライ		(株) TONEGAWA
	中村印刷(株)		(株)エス・ワイ・エス
	(株)正文舎		広研印刷(株)
	北陽ビジネスフォーム(株)	木野瀬印刷(株)	
	植平印刷(株)	プリ・テック(株)	
宮 城	(株)東北プリント	愛 知	半田中央印刷(株)
	(株)ユーメディア		豊橋合同印刷(株)
秋 田	秋田印刷製本(株)		(株)愛知印刷工業
山 形	(株)青葉堂印刷	三 重	(株)荒川印刷
	精英堂印刷(株)		伊藤印刷(株)
栃 木	足利印刷(株)	岐 阜	(株)岐阜文芸社
埼 玉	望月印刷(株)		トーヨー印刷(株)
	(株)アサヒコミュニケーションズ		ヨツハシ(株)
千 葉	(株)太陽堂印刷所	京 都	協同印刷(株)
	(株)総合印刷新報社		日本印刷(株)
	(株)弘報社印刷	富 山	第一共同印刷(株)
神奈川	関東プリンテック(株)	京 都	朝日印刷(株)
	(株)野毛印刷社		(株)太洋堂
新 潟	(株)第一印刷所	大 阪	泰和印刷(株)
	(株)プレスメディア		内藤印刷(株)
	(株)太陽プリント	大 阪	(株)タイム
	(株)第一製品流通		相互印刷(株)
(株)あけぼの	富士精版印刷(株)		
静 岡	(株)きうちいんさつ	大 阪	相互ビジネスフォーム(株)
	日本レーベル印刷(株)		(株)美生社
東 京	(株)中央パッケージング	兵 庫	船場印刷(株)
	(株)金羊社		交友印刷(株)
	大同印刷(株)		丸山印刷(株)
	(株)賢工製版	奈 良	(株)天理時報社
	システム印刷(株)		(株)アイプリコム
	(株)ウエマツ		共同精版印刷(株)
	(株)白橋		(株)明新社
	水上印刷(株)	和歌山	(株)和歌山印刷所
	創文印刷工業(株)	岡 山	研精堂印刷(株)
	(株)アドピア		コーホク印刷(株)
	荏原印刷(株)	愛 媛	愛和印刷(株)
	壮光舎印刷(株)		(株)明朗社
	(株)五色	福 岡	西日本印刷工業(株)
	弘和印刷(株)		西日本ビジネス印刷(株)
	滝澤新聞印刷(株)		(株)啓文社
(株)木元省美堂	熊 本	(株)池田紙器工業	
(株)ザ・デジタルソリューションズ			

※都道府県内は認定番号順